

10月29日(火)

バプテスマのヨハネの悲劇的な死

聖書朗読 マルコの福音書 6:14~29

王は非常に心を痛めたが、自分の誓いもあり、列席の人々の手前もあって、少女の願いを退けることを好まなかった。マルコ 6:26

今日の聖書朗読はバプテスマのヨハネの死という悲劇の箇所です。登場人物たちは実にありありと描かれています。まずヨハネ本人ですが、ヘロデ王に関する限り、彼はふたつ誤りを犯しました。一つ目は、人々の間で評判が良過ぎて、ヘロデの妬みを買ったこと。二つ目は、彼が真実を語る人であったことです。王への

かんげん諫言*には常に危険が伴います。(＊忠告)

登場人物二人目はヘロデヤです。彼女は三重の罪によって汚れています。ヘロデヤは道徳心が希薄で不貞を働きました。強い復讐心を持っていました。最悪なのは、欲しいものを手に入れるためには手段を選ばず、実の娘さえ利用しました。

最後にヘロデ王です。彼は良心のかしゃく呵責を感じていました。ヘロデ王の行動は弱い者がよくとるものです。彼は神の律法を恐れるよりも、妻のかしゃくかんしゃくを恐れました。彼のとった行為によって、彼は破滅しました。罪がその結果をもたらすという証明があるとしたら、それはまさにこの悲劇に見られます。

讃美歌 234A II 169 み神のみ前に

祈り 恵み深い天のお父様、この悲しい復讐劇から学ぶことができますように。常に愛と救しの人であれますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ミシシッピ州 オリーブ・ブランチ / エディC・ルイス

10月30日(水)

しっかりしなさい

聖書朗読 マルコの福音書 6:45~52

「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない」と言われた。…というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。

マルコ 6:50~52

イエス様は弟子たちが向かい風のために舟を漕ぎあぐねているのを知って、心を傷められ、弟子たちにお近づきになられました。イエス様は、弟子たちを助けに行きたいというお気持ちだったのでしょ。弟子たちがイエス様を見て、幽霊だと思ひ、おびえてしまった時、イエス様はどう思われたでしょう。

イエス様はまず、『しっかりしなさい。わたした。恐れることはない。』と安心させてくださいました。それから、舟に乗り込まれました。イエス様の足が舟べりを跨(また)ぐ時のバチャバチャいう音や、弟子たちがイエス様の腕を必死になってつかもうとしている様子を想像してください。イエス様を舟に引き上げ、お座りになる場所を空けると、風はやみました。弟子たちは非常に驚きました。

一万人もの群衆にパンを与えることができる力を持っておられるお方は、同じ力をもって嵐を鎮めることができるのだ、とイエス様と共にいた弟子たちが悟っていなかったのは信じ難いです。イエス様はどのようなことでもおできになるとまだ分からなかったのでしょうか。

また、私たちがイエス様は今もおできになると信じるのは難しい時があります。不信仰と忘れっぽさによって私たちの心はすぐに頑なになってしまい、御力を手放してしまうからです。しかし、今でも、イエス様は私たちを愛しておられ、私たちとともに舟に乗っておられるのです。イエス様を信じましょう。

聖歌 691 風はあれくるう

祈り 神様、生活の中で御子イエス様を思い浮かべるのを習慣とできますように。あなたに気付かない罪をおゆるしてください。あなたがいてくださるといふ素晴らしい賜物を心から感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

ドイツ連邦共和国 ミュンヘン / ベッキー・シュワルツ

10月31日(木)

むずかしく考えないで

聖書朗読 マルコの福音書 9:33~37、10:13~16

私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。

コリント I 3:6

伝道するのは難しいと思っているクリスチャンが大勢います。放蕩息子のような生活を送っている方に伝道するにはどうしたら良いでしょうか。(訳注:ルカ 15:11~32) アグリッパ王のような人にみことばを伝えるにはどうしますか。(訳注:使徒 26:1~29) 私たちは、キリスト教に対して反対する人たちや、重大な罪を犯している人々に、どうしたらみことばを伝えられるかと思っています。

しかし、アメリカでの調査によると、伝道は、まだ神様に会っていない子どもたちやティーンエイジャーが主であるという結果が出ています。勿論、様々な年代への伝道は大切なのです。しかし今回は子どもたちや10代への伝道について考えてみましょう。

若者たちや子どもたちにみことばを植え、水を注ぐのは、パウロがコリント人への手紙第一で描いている庭仕事のようなものです。スポンジのように新しいことを学ぶ3歳の子に初めて聖書物語を語る時、私たちはみことばを植えているのです。5歳児を祝福し、夏休みのバイブルキャンプで子どもたちに人形劇を演じる時、私たちはみことばを植えているのです。教会に来ている数人のティーンエイジャーの子どもたちにみことばを教えている時、私たちは水を注いでいます。中学1年生を水曜日の夜の聖書クラスに送って行ったり、高校生や大学生にマルコの福音書を教えたりすることも、みことばを植え、水を注ぐ大事な働きです。

若者たちや子どもたちと福音を分かりやすく効果的に分かち合うことができる方法を求め、若者を理解し、伝道を試みるなら、私たちは若者たちや子どもたちへの霊的成長を促す役割を果たすことができ、お互いの信仰生活にさらなる意味を加えることができます。神様は私たちを用いて若者たちを御国へと導いて下さいます。勇気を出してみことばを宣べ伝えましょう。

福音子供讃美歌 45 こどもの友は

祈り お父様、子どもたちをありがとうございます。今週、子どもたちの人生に福音を植え、水を注ぐ方法をお示しください。御子イエス様のお名前によって。アーメン。 テネシー州 メンフィス / ハロルド・シャンク

11月1日(金)

神の愛の高さを見上げ、神の愛の深さを覗く

聖書朗読 マルコの福音書 10:13~16

しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」

ヤコブ 4:6

最近いつ雇用主に賃金を下げるように頼みましたか。あなたの新車を中古車と交換したのはいつですか。世の中は下向きよりも上向きにフォーカスします。目標は、地位や富や権力において這い上がることです。

私たちクリスチャンにも上昇志向がよく見られます。“天におられる”神様と仰たりします。それは悪い見方ではありませんが、時として、私たちの視線があまりに高過ぎて、神様の大きいなるみわざの多くを見落としてしまうことがあります。神様は私たちの只中におられるのだということを忘れてはいけません。

人々がイエス様のところに連れて行こうとしていた子どもたちを弟子たちが追い払った時、イエス様は弟子たちを叱りました。弟子たちは、彼らの考えでは、うまくイエス様の側近に成り上がったと思っていましたが、イエス様は、彼らに認識を改めて視線を下げ、神様の大きな愛を見るようにと言われました。

聖書は、身分の卑しい者、へりくだる者、重要ではない人々、与えるものは何もないけれども、神様の恵みを人生の賜物として即座に受け入れる人たちを、神様は愛し気にかけてくださると強調します。それは、世間では取るに足らないとみなしているような人々に対する見方や、私たち自身に対する見方にも、影響を及ぼします。

クリスチャンとして、神様のみわざの偉大さを見上げ、神様の愛の深さを見下ろしましょう。

聖歌 541 みなささげまつり

祈り お父様、あなたの愛にふさわしくない私を愛してくださって、ありがとうございます。この世であなたを見、あなたがなされているみわざに加わらせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジェフ・ケアリー

11月2日(土)

暗黒の世界の希望

聖書朗読 ルカの福音書 1:67~80

救いの角を、われらのために、しもベダビデの家に立てられた。 ルカ 1:69

現在と将来に絶望して参ってしまいそうになる時があります。悪が支配しているように思える時があります。人々の生活における利己主義や罪によって引き起こされた問題が難し過ぎて解決方法が見つからないような時があります。教会の責任や失敗によって、教会員の何人かが諦めてしまった時があります。自分たちが願う礼拝をささげることで、唯一の真の神様への礼拝が私たちの生活から排斥されてしまったことがあります。

でも、そんな時、今日の朗読箇所のような、主からのみことばが聞こえます。「あなたは正しい。この世界は何かおかしい。人々は苦しんでいる。暗黒と死の陰は現実のものだ。幻ではない。」と言われているように思えます。

主からのみことばは続けて、物事は正すことができるし正されるだろうと、希望と確信について語ります。それによって私たちは、神様が私たちの代わりに働いてくださり、救い主イエス様を立て、私たちが救いと罪の赦しを知ることができるようにして下さったことを思い起こします。私たちは恐れなく主に仕えることができます。『私たちの足を平和の道に導く』ことが主のみことばであり、お約束だからです。

讃美歌 97 朝日は昇りて

祈り お父様、ザカリヤを通して語られた、これらのみことばに示された希望をありがとうございます。イエス様のお名前によって感謝いたします。

アーメン。



テキサス州 グランベリー / クリス・フリッツェル

11月3日(日)

私たちは互いに必要です

聖書朗読 ルカの福音書 5:17~26

互いに愛し合うべきであるということは、あなたがたが初めから聞いている教えます。 ヨハネ1 3:11

中風をわずらっている人はイエス様のおそばに行くことだけを望んでいました。でも、家の周りには大勢の群衆が取り巻いているし、中風で歩けないし、とても乗り越えられそうもない障害のように思えました。でも、彼には友だちがいて、彼を助けるためにはおおよそどんなことでもしてくれるほど彼を愛していました。彼らは障害を乗り越える方法を見つけました。屋根の瓦をはがし、そこから彼の寝床をイエス様の前につり降ろしたのです。イエス様は彼を癒され、奇跡が起こりました。

中風の人の場合は身体的な癒しという奇跡でしたが、霊的な奇跡は現代でも繰り返して起こっています。打ち勝ちがたい障害を持っているように思えるひとりの罪人が罪に陥っています。世間の関心が彼の周りにどっと集まります。彼の望みはただイエス様のもとに行くことです。彼が絶望的に必要としている愛を教えられる友だちがいさえすれば、彼は救われるのです。だれかが、彼を癒すことができる唯一のお方、イエス様のもとへ、彼を連れて行く方法を見つけなければなりません。

私たちはみな互いに愛し合わなければなりません。あなたが障壁に立ち向かっているかもしれないし、困っている友を助けることができる、愛にあふれた友があなたかもしれません。どちらにしても、私たちは互いに必要なのです。そして、何よりも、私たちはみな癒し主なるイエス様を必要としています。

聖歌 442 つみのふかみに

祈り お父様、イエス様を地上に送って下さったあなたの愛と、私たちを罪から引き上げて下さったイエス様の愛に感謝いたします。また、あなたと私たちを愛し、キリストのもとへと導いて下さった方々を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アビリーン / ナンシー・ファーガソン